

2010年1月8日

パソナグループ 2010年5月期 第2四半期決算概要

- 人材派遣事業は底入れの兆しが見られたものの、企業の雇用過剰感が続いたことから回復には至らず、人材紹介事業も需要低迷が続く
- 再就職支援事業は需要が大幅に増加、インソーシング(請負)事業も引き続き拡大
- 再就職支援事業の大幅増収による利益下支えがあったものの、派遣・紹介事業の減収による利益減に加え、派遣スタッフの有給休暇取得増等の影響で売上総利益率が低下
- 販管費は募集費、人件費等を中心に大幅に抑制
- 連結子会社の少数株主利益の割合増加に加え、一部子会社の繰延税金資産の取崩し等により法人税等調整額が膨らみ、四半期純損失が拡大

【1】第2四半期 連結累計期間業績 (2009年6月1日～2009年11月30日) (百万円)

	2009年5月期	2010年5月期	前期比	
			増減	増減率
売上高	116,086	92,069	△24,016	△20.7%
売上総利益	23,197	17,689	△5,508	△23.7%
売上比	20.0%	19.2%	△0.8%	-
販売費及び一般管理費	21,598	16,784	△4,814	△22.3%
売上比	18.6%	18.2%	△0.4%	-
営業利益	1,598	905	△693	△43.4%
売上比	1.4%	1.0%	△0.4%	-
経常利益	1,803	933	△870	△48.3%
売上比	1.6%	1.0%	△0.6%	-
税金等調整前四半期純利益	1,601	877	△724	△45.3%
売上比	1.4%	1.0%	△0.4%	-
四半期純損益	203	△1,696	△1,900	-
売上比	0.2%	△1.8%	△2.0%	-

【2】事業セグメント別 (セグメント間取引消去前) (百万円)

第2四半期 連結累計期間	2009年5月期	2010年5月期	前期比	
			増減	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	105,161	79,658	△25,503	△24.3%
人材派遣・請負	101,665	78,239	△23,425	△23.0%
人材紹介	3,496	1,418	△2,078	△59.4%
再就職支援	2,893	5,179	2,285	79.0%
アウトソーシング	7,479	6,758	△720	△9.6%
その他	1,287	2,122	834	64.8%
消去又は全社	△735	△1,648	△912	-
売上高 合計	116,086	92,069	△24,016	△20.7%
人材派遣・請負、人材紹介	2,025	281	△1,744	△86.1%
再就職支援	618	1,614	996	161.1%
アウトソーシング	758	663	△94	△12.5%
その他	24	△107	△131	-
消去又は全社	△1,828	△1,547	281	-
営業利益 合計	1,598	905	△693	△43.4%

※持株会社の費用は「消去又は全社」の中の全社費用として計上されています。

業績の概況

- 再就職支援、インソーシング（請負）が拡大したものの、人材派遣、人材紹介の減収が大きく、連結売上高は前期比20.7%減の92,069百万円
- 再就職支援事業の大幅増収による利益下支えがあったものの、人材派遣、人材紹介の減収影響に加え、派遣スタッフの有給休暇取得増などにより、売上総利益率が19.2%（前期比0.8%ポイント低下）、売上総利益は前期比23.7%減
- 募集費、人件費等を中心にコスト削減を進め、販管費を前期比22.3%減（4,814百万円減）と大幅に抑制するも売上総利益減少をカバーできず、連結営業利益は前期比43.4%減、連結経常利益は前期比48.3%減
- 連結子会社の少数株主利益の割合増加に加え、一部子会社の繰延税金資産の取崩し等により法人税等調整額が膨らみ、連結四半期純損失1,696百万円

人材派遣・請負、人材紹介事業（パソナ、パソナテック、パソナキャリア 他）

＜人材派遣・請負＞ 売上高 78,239 百万円（前期比 23.0%減） ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… p.4

- 金融業やサービス業等を中心に新規受注が下げ止まりつつあり、派遣契約終了も一巡しつつある
- 企業における雇用過剰感が続いたことから回復に至らず、稼働者数の減少傾向が続き、派遣先企業における残業抑制や派遣スタッフの有給休暇取得の影響もあいまって減収
- 一般事務（クラリカル）は低調に推移。営業・販売職は自由化職種の派遣可能期間満了に伴う契約終了の影響を受けて減収幅が拡大
- 専門職派遣の強化を目的に三井物産グループの派遣子会社を平成21年7月に吸収合併したことが貿易事務分野の伸長に貢献し、専門事務分野（テクニカル）のマイナス幅を抑制
- 重点分野のインソーシング（請負）事業は、受付、事務センターやコールセンターなどの受託が順調に推移したほか、パブリック関連の新規案件が増加し、売上高は前期比24.0%増の6,034百万円

＜人材紹介＞ 売上高 国内 1,117 百万円（前期比 61.4%減）、海外 301 百万円（前期比 50.1%減）

- 国内では企業の採用抑制が続き、選考基準の引き上げによりマッチングが難化。紹介予定派遣の需要も低調に推移
- 海外事業も需要が引き続き低調で、人材紹介事業全体で大幅な減収

＜人材派遣・請負、人材紹介セグメント＞

- 人材派遣、人材紹介双方の減収による売上総利益減に加え、派遣スタッフの有給休暇取得増等の影響により粗利率が低下
- 募集費、人件費を中心に販管費を大幅に抑制したものの売上総利益の減少を吸収できず、セグメント売上高は79,658百万円（前期比24.3%減）、営業利益は281百万円（前期比86.1%減）

再就職支援事業（パソナキャリア 他） 売上高 5,179 百万円（前期比 79.0%増）
営業利益 1,614 百万円（前期比 161.1%増）

- 早期退職、希望退職等の雇用調整や、追加的な雇用調整の増加などから、受注が大幅に増加
- 人材紹介部門をはじめ他部門からの配置転換によりコンサルタントを増員し、サービスレベル維持と再就職先企業の開拓に注力

アウトソーシング事業（ベネフィット・ワン） 売上高 6,758 百万円（前期比 9.6%減）
営業利益 663 百万円（前期比 12.5%減）

- 大企業・官公庁等の法人会員に対して提案営業を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスの提供に注力
- 「特定健診・特定保健指導」等のヘルスケアサービス拡充や、カスタマー・ロイヤリティ・プログラム（顧客満足度向上のための物販およびサービス提供）等の新規サービス拡販に取り組む
- 新規サービスの立ち上がりが想定よりも遅れたものの、収益面は計画に対し概ね順調に推移

その他事業

- 保育関連事業、語学教室運営などの教育事業、グループ内シェアードサービス会社等の売上を含む
- シェアード化推進のため前年度にシェアード会社を2社設立し、売上高が大幅に増加

【3】財政・投資の状況

●財政の状況

(百万円)

	2009年5月期 期末	2010年5月期 2Q 末	前期末比		前期末比増減の要因
			増減	増減率	
流動資産	37,358	27,033	△10,324	△27.6%	現金及び預金の減少 7,237 百万円、売掛金の減少 1,489 百万円等
固定資産	18,110	15,832	△2,277	△12.6%	
資産合計	55,468	42,866	△12,601	△22.7%	
流動負債	28,834	18,248	△10,585	△36.7%	短期借入金の減少 6,166 百万円、未払費用の減少 1,733 百万円、買掛金の減少 839 百万円等
固定負債	1,485	2,120	635	42.8%	
負債合計	30,319	20,368	△9,950	△32.8%	
純資産合計	25,148	22,497	△2,651	△10.5%	四半期純損失 1,696 百万円、配当金の支払 233 百万円等

●キャッシュ・フローの状況 現金及び現金同等物の期末残高 6,648百万円（前期末比7,471百万円減）

(百万円)

	2009年5月期 2Q	2010年5月期 2Q	増減	前期末比増減の要因
営業活動によるCF	609	△1,235	△1,845	主に売上債権の減少 1,867 百万円、営業債務の減少 2,667 百万円、預り金の減少 1,663 百万円等
投資活動によるCF	△1,856	△25	1,830	主に子会社株式の取得による支出 731 百万円、敷金及び保証金の回収による収入 1,555 百万円等
財務活動によるCF	△2,184	△6,180	△3,995	主に短期借入金の返済による減少 6,290 百万円、長期借入による収入 649 百万円、配当金の支払 509 百万円等
フリーCF	△1,247	△1,261	△14	

【4】2010年5月期（2009年6月1日～2010年5月31日）通期連結業績 修正予想

足元においても失業率は依然高止まっており、雇用情勢の回復は未だみられません。むしろ雇用調整助成金等により企業における雇用の過剰感が続いています。また雇用調整を実施する企業がある一方で、業務全体の見直し、外部人材の有効活用を推進する企業が増加基調となってきました。

このような環境の下、期初想定よりも企業における雇用過剰が続く、人材派遣の新規需要が抑制されましたが、足元では新規受注が下げ止まりつつあり、派遣契約終了の一巡とあいまって、緩やかながら回復に向かいつつあります。しかし今後、景気二番底の可能性も否定できず、企業の過剰雇用解消のため、追加的な雇用調整を余儀なくされる状況さえ推測されます。こうした状況が一巡する過程では人材流動化が進み、人材派遣を中心に外部人材需要が本格回復してくると見えています。また再就職支援事業については、今後の更なる需要増も見込まれます。

しかし、これら足元の業績動向を踏まえつつも、回復の足取りが期初の想定よりも遅れていることから、計画を下方修正しました。経常利益に対して当期純利益の減少幅が大きいのは、連結子会社の少数株主利益の割合の増加に加え、一部子会社の繰延税金資産取崩し等によるものです。尚、グループ会社の再編に伴いパソナキャリアが決算期を3月から5月に変更し、当期についてのみ14ヶ月の変則決算となりますが、これら会社再編に伴う業績への影響については業績予想に織り込んでいます。

(単位：百万円/未満切捨)

	通期 修正予想	前期比		期初予想比		通期 期初予想
		増減	増減率	増減	増減率	
売上高	191,700	△26,999	△12.3%	△32,690	△14.6%	224,390
営業利益	3,000	149	5.2%	△540	△15.3%	3,540
経常利益	3,300	△61	△1.8%	△390	△10.6%	3,690
当期純利益	200	△112	△36.0%	△810	△80.2%	1,010

●事業セグメント別 通期連結業績 修正予想

(単位：百万円/未満切捨)

	売上高	前期比増減	増減率	営業利益	前期比増減	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	162,910	△34,423	△17.4%	1,060	△2,231	△67.8%
人 材 派 遣 ・ 請 負	159,660	△31,752	△16.6%			
人 材 紹 介	3,250	△2,671	△45.1%			
再 就 職 支 援	12,510	6,715	115.9%	2,770	1,744	170.1%
ア ウ ト ソ ー シ ン グ	15,000	274	1.9%	2,330	194	9.1%
そ の 他	4,660	1,657	55.2%	△160	△172	-
消 去 又 は 全 社	△3,380	△1,224	-	△3,000	614	-
合 計	191,700	△26,999	△12.3%	3,000	149	5.2%

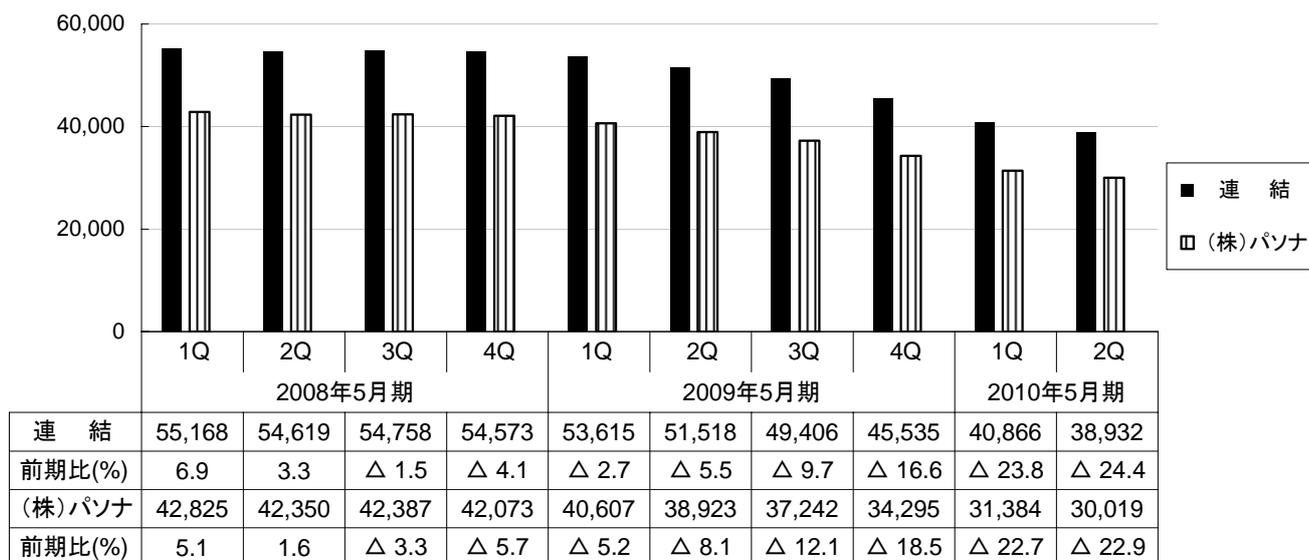
【5】2010年5月期（2009年6月1日～2010年5月31日）修正配当予想

誠に遺憾ながら中間配当は見送りとさせていただきます。期末配当予想については現時点では未定とし、今後の業績動向を見極めたうえで改めて公表させていただきます。

	2009年5月期			2010年5月期(期末は予想)		
配 当 金	中間 600円	期末 650円	年間 1,250円	中間 -	期末 未定	年間 未定
配 当 金 総 額	215百万円	233百万円	448百万円	-	-	-

【6】参考データ

● 派遣長期稼働者数（1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均） 単位：人



● 派遣職種別 第2四半期連結累計期間売上高（セグメント間取引消去後）

(百万円)

	2009年5月期 2Q累計	2010年5月期2Q累計				
		売上高	構成比（前期比増減）	増減	前期比	
クラリカル（一般事務）	54,206	40,782	52.3%	△1.1%pt	△13,424	△24.8%
テクニカル（専門事務）	16,962	13,336	17.1%	0.4%pt	△3,595	△21.2%
ITエンジニアリング	11,544	8,999	11.5%	0.1%pt	△2,545	△22.0%
営業・販売職	8,322	5,372	6.9%	△1.3%pt	△2,950	△35.4%
その他の派遣	5,503	3,401	4.4%	△1.0%pt	△2,101	△38.2%
インソーシング（請負）	4,860	5,997	7.7%	2.9%pt	1,136	23.4%
派遣付随業務	96	69	0.1%	0.0%pt	△27	△28.3%
合 計	101,497	77,989	100.0%	-	△23,507	△23.2%

● 四半期業績

(百万円)

	2009年5月期				2010年5月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	59,136	56,950	52,531	50,082	47,161	44,908	-	-
前期比	△2.2%	△3.5%	△9.8%	△15.4%	△20.2%	△21.1%	-	-
売上原価	47,373	45,514	41,976	40,249	38,326	36,053	-	-
前期比	△2.1%	△2.7%	△7.9%	△14.0%	△19.1%	△20.8%	-	-
売上総利益	11,762	11,435	10,554	9,833	8,834	8,855	-	-
前期比	△2.9%	△6.5%	△16.7%	△20.4%	△24.9%	△22.6%	-	-
販売費及び一般管理費	10,902	10,696	9,986	9,149	8,968	7,815	-	-
前期比	3.0%	0.1%	△6.3%	△16.8%	△17.7%	△26.9%	-	-
営業損益	860	738	567	683	△134	1,039	-	-
前期比	△43.8%	△52.1%	△71.8%	△49.6%	-	40.7%	-	-
経常損益	909	894	527	1,029	△119	1,052	-	-
前期比	△42.6%	△42.7%	△73.5%	△31.3%	-	17.6%	-	-
税金等調整前四半期純損益	990	610	11	1,272	△155	1,032	-	-
前期比	△36.4%	△58.7%	△99.6%	34.1%	-	69.0%	-	-
四半期純損益	313	△110	△810	919	△1,102	△594	-	-
前期比	△60.6%	-	-	50.1%	-	-	-	-

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。